

認知症サポーター養成講座について

1. 認知症サポーター養成講座の取り組み状況

(1) 認知症サポーター養成講座の実施件数及び養成者数

① 講座開催回数と養成者数（平成 28 年度～令和 2 年度）

	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R 元年度	R 2 年度※
講座開催数	322 回	309 回	289 回	225 回	63 回
養成者数	12,333 人	11,891 人	11,421 人	8,108 人	1,977 人
養成者数（累計）	60,320 人	72,211 人	83,632 人	91,740 人	93,717 人

② 月別講座開催回数（令和元年～2 年度）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
令和元年度	12 回	10 回	30 回	29 回	18 回	14 回
令和 2 年度※	1 回	1 回	1 回	8 回	4 回	20 回

	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
	28 回	30 回	19 回	19 回	13 回	3 回	225 回
	14 回	10 回	4 回	-	-	-	63 回

(2) 令和 2 年度認知症サポーター養成講座の開催事例

① 学生向け認知症サポーター養成講座の開催

基本的な感染症対策を徹底し、会場を教室から体育館に変更する、グループワークを個人ワークに変更する等、調整をして開催。特に年間行事として毎年認知症サポーター養成講座を開催している小学校等では、多くが今年度も開催している。担当教員からは「様々なイベントが中止になっており、子供たちの印象に残るような講習が開催できてよかった」など、好意的な意見をいただいている。

	小学校	児童館	中学校	高校	大学・専門 学校	合計
令和元年度	15 カ所	8 カ所	6 カ所	3 カ所	14 カ所	46 カ所
令和 2 年度※	9 カ所	1 カ所	3 カ所	1 カ所	3 カ所	17 カ所

※令和 2 年度のサポーター養成数等は令和 2 年 4 月から同 12 月までの暫定数となります

② 市内金融機関での定員を絞った講座開催

金融機関職員向けの講座にて、参加人数調整のため計9回に分割して開催し、231名が受講している。内2回はテレビ会議型式で県内支店に配信し、約80名がオンラインで受講している。

2. 今後の取組みについて

令和2年度は老人クラブや地域のサロンなどの活動の自粛に伴い、これまで受講者の中心となっていた地域住民向けのサポーター養成講座の開催が減少している。認知症の人が住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けるためには、地域の理解と支え合いが大切であり、コロナ禍においてもサポーターの養成を継続していくことが必要である。来年度以降も認知症の正しい知識と理解の普及啓発を推進するため、パートナー養成講座と連動するなど、感染症対策を徹底しながら、地域の幅広い世代に向けて講座を開催してまいりたい。

認知症施策推進大綱においても、認知症の人と地域で関わることが多いと想定される子供・学生に対する養成講座の拡大が求められており、教育委員会に対する小中学校向けの養成講座の開催依頼に加えて、大学・専門学校へ向けても更に周知を強化していく。また、金融機関やスーパーなど、企業・商店向けの周知方法も検討していく。